

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-11C	16-114	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
Facial flushing after alcohol consumption and the risk of cancer: A meta-analysis. アルコール摂取後の顔面紅潮と癌の危険性: メタ解析		
執筆者		
Zhang J, Zhang S, Song Y, Ma G, Meng Y, Ye Z, Ma X, Liu M.		
掲載誌		
Medicine (Baltimore). 2017 Mar;96(13):e6506. doi: 10.1097/MD.00000000000006506.		
キーワード		PMID
アルコール、癌、食道扁平上皮癌、顔面紅潮		28353603
要 旨		
目的： アルコール摂取後の顔面紅潮と癌の危険性の関連については未だ議論の余地がある。本研究では、アルコールによる顔面紅潮と癌リスクとの関連をメタ解析により検討する。		
方法： 系統解析やメタ解析のガイドラインであるPRISMA-Pに沿って、PubMed・EMBASE・Cochrane Libraryを用いて関連文献を検索し、得られた各研究において被検者の基礎特性と予測危険度を抽出した。オッズ比（OR）と95%信頼区間（CI）を利用して、その危険性を算出し、サブグループ解析も行った。		
結果： 検索の結果、最終的に10論文を対象とし解析を行った。10論文すべてが東アジア人を対象としており、対象者は合計89,376例であった。アルコールによる顔面紅潮無に対する有の癌の統合オッズ比は1.43（95%CI: 1.08-1.91）、男性では1.94（95%CI: 1.33-2.83）、女性では0.95（95%CI: 0.80-1.12）であった。また食道扁平上皮癌においては統合オッズ比は1.69（95%CI: 1.11-2.56）、男性では2.14（95%CI: 1.30-3.52）、女性では0.75（95%CI: 0.41-1.36）であった。		
結論： 東アジア人の男性において、アルコールに対する顔面紅潮は癌リスクが高いことと関連し、特に食道扁平上皮癌で傾向が強かった。これらの結果から、特に多量飲酒者に対し、アルコールに対する顔面紅潮に関するシンプルな質問により癌リスクを評価できる可能性が示唆される。しかしながら、特に女性を対象としたさらなる検討が必要と考えられる。		